| 学校番号 | T0308 |
|---|---|

# 平成 31 年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | （通）数学 B | 単位数 | 2 単位 | 年次 | 2 年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「改訂版　新　高校の数学 B」　（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、数学の基礎的な問題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「必要な計算の復習する→基本的な用語や知識を学ぶ→問題の意図を理解する→例題の解法と比較しながら解法を構想する→問題を解く→問題の解法の過程を振り返ってよりよい解法を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・授業を休むことなく、学びにきてください。

## 2　学習の到達目標

数列，ベクトル，確率分布又は統計的推測について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用するようにする。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b: 数学的な見方や考え方 | c:数学的な技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 数列，ベクトル，確率分布又は統計処理における論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。 | 数列，ベクトル，確率分布又は統計処理における事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 | 数列，ベクトル，確率分布又は統計処理において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 | 数列，ベクトル，確率分布又は統計処理における基本的な概念，原理･法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 授業態度<br>発問評価<br>ノート確認<br>課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ノート確認<br>課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ノート確認<br>課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ノート確認<br>課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 数列 | ・数列の概念及び用語の意味を理解する。<br>・等差数列の意味及び一般項を理解する。<br>・等差数列の性質を理解する。<br>・等差数列の和の公式を理解する。<br>・等比数列の意味及び一般項を理解する。<br>・等比数列の和の公式を理解する。 | ○ | <br><br>○ | <br><br>○<br><br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a: 数列における数学のよさや楽しさを認識し、ともに学びあうことで考察や理解を深めようとしている。<br>b:例題の解法における思考の過程を振り返り、類題の解法を考えることができる。<br>c: 学習内容に準ずる類題の解法を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。<br>d: 数列の基礎的な概念・性質、公式の意味を理解している。また、具体的な活用や本単元の数学的な位置づけを理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>ノート確認<br>課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 |
| | | ・記号Σの意味と性質，及び自然数の2乗の和，3 乗の和を求める公式を理解する。<br>・分数の数列の和，等差数列と等比数列の組み合わさった数列の和などを理解する。<br>・階差数列について理解する。<br>・和から一般項を求めることを理解する。 | <br>○ | ○<br><br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | | 授業態度<br>発問評価<br>ノート確認<br>課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 |
| 2学期 | 平面上のベクトル | ・ベクトルの意味について理解する。<br>・ベクトルの加法・減法・実数倍とその性質について理解する。<br>・ベクトルの成分と成分による演算やベクトルの大きさについて理解する。<br>・ベクトルの内積とその基本性質について理解する。 | ○ | | <br>○<br><br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a: ベクトルにおける数学のよさや楽しさを認識し、ともに学びあうことで考察や理解を深めようとしている。<br>b:例題の解法における思考の過程を振り返り、類題の解法を考えることができる。<br>c: 学習内容に準ずる類題の解法を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。<br>d: ベクトルの基礎的な概念・ | 授業態度<br>発問評価<br>ノート確認<br>課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ・位置ベクトルの意味や線分の内分点・外分点の位置ベクトルについて理解する。<br>・位置ベクトルを用いて，平面図形の性質を調べる。<br>・ベクトル方程式の意味，及び直線や円のベクトル方程式，平面上の点の存在範囲について理解する。 | <br><br>○<br><br>○ | <br><br>○ | <br><br>○ | ○<br><br>○ | 性質、公式の意味を理解している。また、具体的な活用や本単元の数学的な位置づけを理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>ノート確認<br>課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。